



# MIXING WORK BENCH

(調合用局所排気装置)



天板部パンチングメタル (多孔板)



気流の影響による、はかりの数値変動が少ない換気システムを採用。

特許申請中

有機溶剤を使用する調合作業に対応するベンチ型局所排気装置。  
作業性を損なわず、囲い式排気により安全性を飛躍的に改善します。



有機溶剤を使用する調合作業に対応。コンパクトタイプで場所を選ばず、調合室にも設置可能。



大風量かつ静音性の高い送風機を採用。非防爆・防爆仕様の2種類をラインナップ。



囲い式排気を採用。有機溶剤による暴露の危険性が極めて低く、安全に作業が可能です。



## 有機溶剤が含まれる塗料調合について

有機溶剤中毒予防規則（第二条、第一項）では、一定量の有機溶剤を使用する作業を有機溶剤作業として定めています。塗料調合作業は、有機溶剤作業に該当しますので、局所排気装置の設置が義務づけられます。

**ANDEX®**

# 局所排気装置の法令

## ■有機溶剤作業の該当基準について

### 有機溶剤中毒予防規則 第一章 第二条より

(「適用の除外」の項目にて)作業時間一時間に消費する有機溶剤の量が、次の表の上欄に掲げる区分に応じて、それぞれ同表の下欄に掲げる式により計算した量を超えないとき。

| 消費する有機溶剤等の区分 | 有機溶剤等の許容消費量                 |
|--------------|-----------------------------|
| 第1種有機溶剤等     | $W = \frac{1}{15} \times A$ |
| 第2種有機溶剤等     | $W = \frac{2}{5} \times A$  |
| 第3種有機溶剤等     | $W = \frac{3}{2} \times A$  |

W=有機溶剤等の許容消費量(単位 グラム)

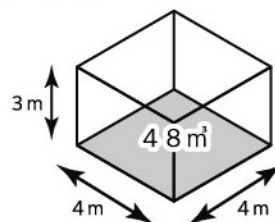
A=作業場の気積(床面から4mを超える高さにある空間を除く。)(単位 m<sup>3</sup>) ただし、気積が150 m<sup>3</sup>を超える場合は、150 m<sup>3</sup>とする。

<例> 作業場48 m<sup>3</sup>の許容消費量

$$W4m \times D4m \times H3m = 48 m^3$$

$$\frac{2}{5} \times 48 m^3 = 19.2 g$$

第2種有機溶剤を1時間あたり19.2 g以上を消費すると有機溶剤作業に該当します。

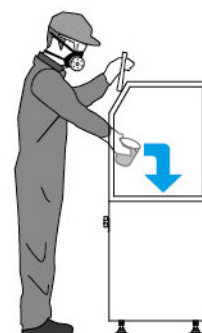


## ■局所排気装置の性能

### 有機溶剤中毒予防規則 第三章 第十六条より

局所排気装置は、次の表の上欄に掲げる形式に応じて、それぞれ同表の下欄に掲げる制御風速を出し得る能力を有するものでなければならない。

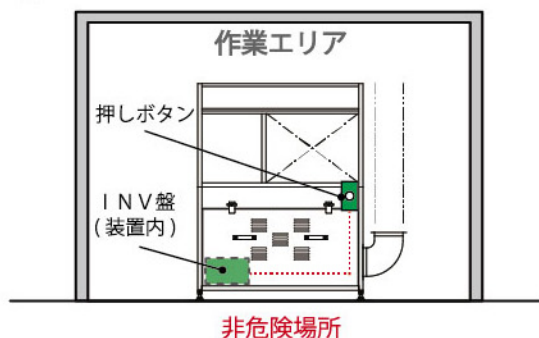
| 型 式    | 制御風速(メートル/秒) |
|--------|--------------|
| 囲い式フード | 0.4          |



制御風速  
0.4 m/s

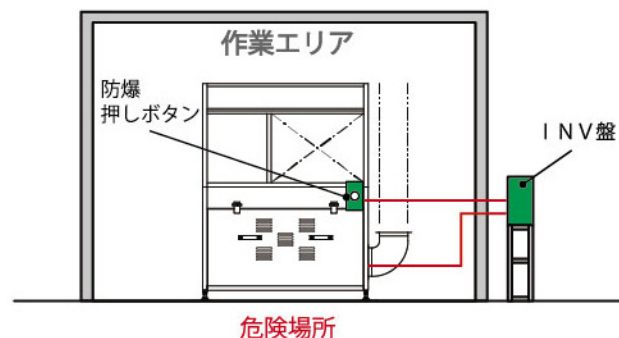
## ■制御盤仕様

### MWB-A(非防爆)



非危険場所

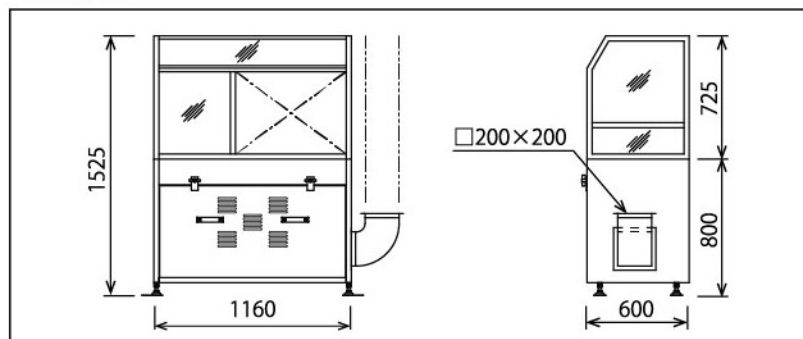
### MWB-B(防爆)



危険場所

## <商品仕様>

### ■寸法図



### ■仕様

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 型 式    | MWB-1100           |
| 外形寸法   | W1160×D600×H1525   |
| 吸込み口寸法 | W650×H485          |
| モーター   | 防爆仕様 / 非防爆仕様       |
| 電源容量   | 200V 5A 0.75kw     |
| 制御盤    | インバーター搭載、押しボタンスイッチ |
| 製品重量   | 180kg              |
| オプション  | SUS仕様、フットスイッチ      |

### 塗料の自然発火にご注意ください!!

自然発火する恐れのある塗料(フタル酸やアルキド系塗料など)は、塗料ミストがフィルターに付着し堆積することで火災の危険性が高まりますので使用しないでください。

